

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Stereotactic radiosurgery for cerebral metastatic melanoma: factors affecting local disease control and survival	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ19-10	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ I V ）	
	Pubmed ID	9806518	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Int J Radiat Oncol Biol Phys	
	雑誌 ID		
	巻	42	
	号	3	
	ページ	581-9	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1998 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Mori Y	ピッツバーグ大学癌センター
その他著者 1		Kondziolka D	同上
その他著者 2		Flickinger JC	同上
その他著者 3		Kirkwood JM	同上
その他著者 4		Agarwala S	同上
その他著者 5		Lunsford LD	同上
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	悪性黒色腫で脳定位照射施行後の成績と予後の解析を行う	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	ピッツバーグ大学癌センター	
	対象者	悪性黒色腫で脳転移を生じ、脳定位照射を施行した 60 例 単発（60%）、多発(40%) 全身状態：平均 KPS 90 (50-100)	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （3）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （3）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （14）	
	介入（要因曝露）	脳定位照射（全例）：平均辺縁線量 16.4 Gy (10-20) 全脳照射(51 例)：33.7 Gy(12.5-54) 外科的切除(15 例) 化学療法(45 例)	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	生存期間	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	2	局所制御率	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	3	全脳照射の生存に与える影響	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	4	毒性	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	全例の平均生存期間：7 か月 頭蓋外活動性病変、単発の脳転移例の予後は良好（15 か月） 全脳照射の生存期間延長への意義は見られなかった 全脳照射は新病変出現を抑制する効果あり（23% vs. 44%） 4 例だけが脳定位照射を行った腫瘍が直接の原因で死亡した 重篤な遅発性毒性は見られなかった（3 例腫瘍出血あり）	
	結論	悪性黒色腫の脳転移例には定位照射は有効であり、安全性も高い。 単発症例では脳定位照射単独治療が良いであろう。	

	備考	
レビュワーコメント	レビュワー氏名	鹿間直人
	レビュワーコメント	定位照射を施行した症例のみの後ろ向き解析であり、患者選択にかなりの偏りが生じている可能性があり、脳定位照射の意義や全脳照射の意義を検討するのは困難。毒性の評価はある程度可能。 症例数が少なく、多変量解析にも限界あり。結果は妥当なものと思われるが。 レベル I V